

長崎市稲佐地区について

税理士法人 内田会計事務所
長崎オフィス 税務相談室 室長
税理士 内田 尚生

立場上、普段から税務調査や確定申告、税制改正等、税務に関する情報についてお知らせする機会が多いのですが、今回は編集委員からテーマは自由と言われたので、税務に全く関係のない、私が幼少期を過ごした弊社長崎オフィスのある稲佐地区についてご紹介します。

1 稲佐山



言わずと知れた、長崎を代表する観光名所です。

標高 333m、山頂展望台からは周囲の地形を 360 度にわたり望むことができます。長崎(野母崎)半島や伊王島、高島、端島(軍艦島)と美しい島影、遠くは雲仙岳や大村湾を超えて多良岳、そして港に入港してくるクルーズ客船、対岸に広がる外国人居留地跡、ビルが密集する市街地と、海と山に囲まれた風光明媚な長崎を感じられる景観です。日本新三大夜景(他は札幌市、北九州市)にも 3 回連続で認定されています。

一昨年には、佐世保を本店とする全国でも有数の通信販売会社の出資会社が複数の飲食店を出店しています。稲佐近隣の小学校では遠足といえば 100%稲佐山です。

2 稲佐悟真寺国際墓地



長崎市に三か所ある国際墓地(坂本、大浦、稲佐)の中で、最も古い歴史があります。坂本、大浦墓地はどちらも公有地で長崎市が管理していますが、稲佐は歴代悟真寺住職によって守られてきた歴史を持つ珍しい国際墓地です。外国人を受け入れ、異文化を取り入れてきた長崎らしい特性です。

慶長 7 (1602) 年、最初に唐人墓が造られ中国人墓地となり、次に出島オランダ商館のオランダ人のためにオランダ人墓地が造られました。安政 5 (1858) 年、ロシアから艦隊が来航した際、病死した船員を葬るためのロシア人墓地が造られ、その後もポルトガル、アメリカ、イギリス、フランス人が葬られ、約千人以上が埋葬されています。

17 世紀半ば、幕府は正式な交易相手をオランダに限定し、ロシアの上陸は長く拒んでいましたが、ロシア極東艦隊の越冬地として上陸を許可するようになった際に、長崎の中心地ではなく港を隔てた漁村の稲佐を指定。はじめは寺院などが臨時の宿泊所でしたが、次第に受入れ場所が増え、明治前半の稲佐は子供が片言のロシア語を話すほど、ロシア文字の看板を掲げた店が珍しくなかったそうです。

個人的には年少時にボーイスカウトに入隊しており、定期的に墓地の清掃をしていました。

> 2 面へ



長崎市稲佐地区について



> 1面より続き

3 稲佐遊廓



先述した国際墓地と大いに関係しますが、稲佐は幕末の「安政の五か国条約」による開国でロシアの軍艦寄港地となり、いわゆるロシア村が形成されました。ここには休息所（マタロス休息所）があり、これが稲佐遊廓の始まりです。

稲佐遊廓は明治**39**年に許可となり、妓桜数**14**軒、娼妓**115**名の規模となりました。

当時最も規模が大きく有名だった吉田屋は、弊社長崎オフィスのすぐ近くに建物が残っていましたが、今年**4**月に解体され今は空地になっています。

4 福山雅治さん実家（おまけ）

さだまさしさん、前川清さん（佐世保市）と並ぶ長崎の大スターです。

ご実家が弊社長崎オフィスから徒歩**1**分のところにあります。福山観光と称するタクシー運転手の実家前で乗客を写真撮影しているのをよく見ます。修学旅行生を乗せて信号待ちしているバスの生徒が皆実家の方を向いているのは、きっとバスガイドさんが説明しているからでしょう。



私は福山さんと同じ淵中学校卒業で、学年は福山さんの**1**年上になります。福山さんには私と同級のお兄さんがおり、家も近くで遊びに行った際は、福山さんと話をすることもありました。福山さんが上京してTV出演していると聞いて、**1**～**2**年で帰崎するだろうと思っていたらいやはや……。

前職の税務署でこのような話をするると大体女性職員がざわつきます。一度お兄さんを頼りにチケットの入手を頼まれたこともありましたが、あまりの人気の高さに結局入手できませんでした。